

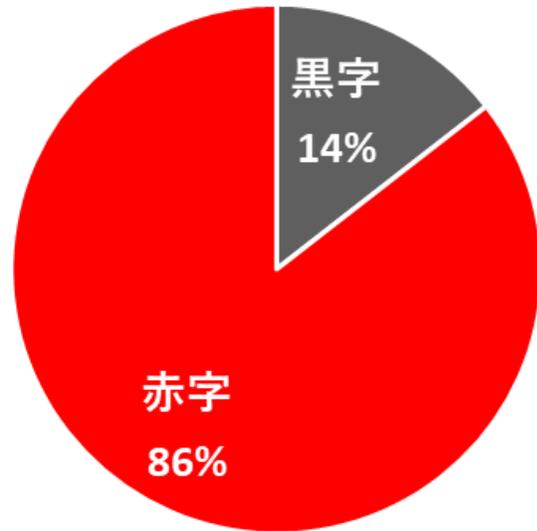
# 会員病院の令和6年度決算状況調査 の結果（概要）

令和7年8月6日

説明資料

# 令和6年度決算の状況

経常損失を生じた会員病院の割合は約9割



<参考>  
 医業損失を生じた会員  
 病院の割合は95%

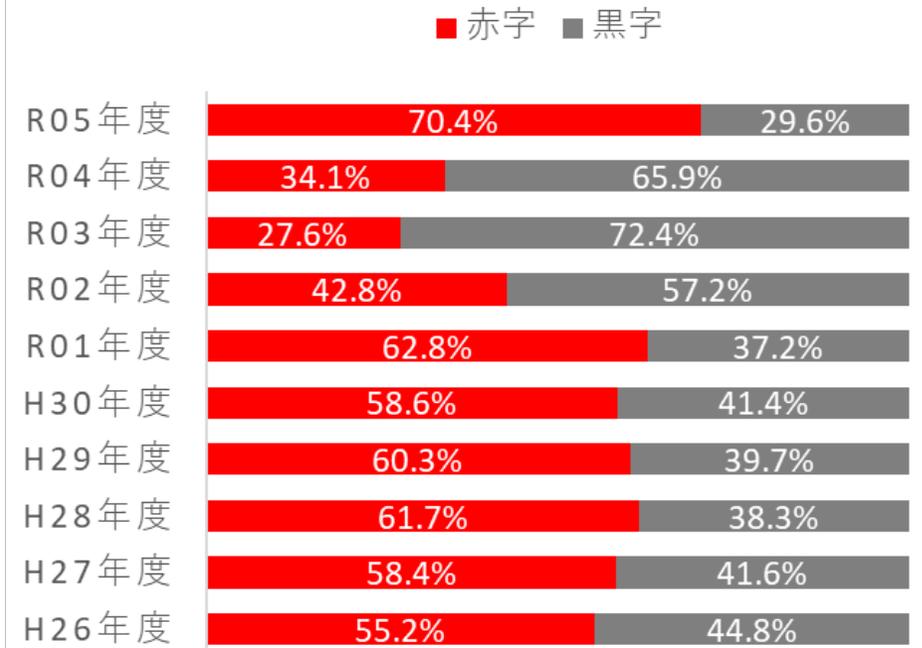
n=657 (会員の78%)

調査対象：会員841病院  
 回答数：687病院 (回答率：82%)  
 有効回答数：657病院 (全体の78%)

地域の役割別

	病院数	赤字	赤字割合
感染症指定医療機関 a	205	192	94%
へき地医療拠点病院 b	158	142	90%
災害拠点病院 c	266	251	94%
不採算地区中核病院 d	152	140	92%
救命救急センター e	100	93	93%

<参考> 経常損失を生じた公立病院数の割合

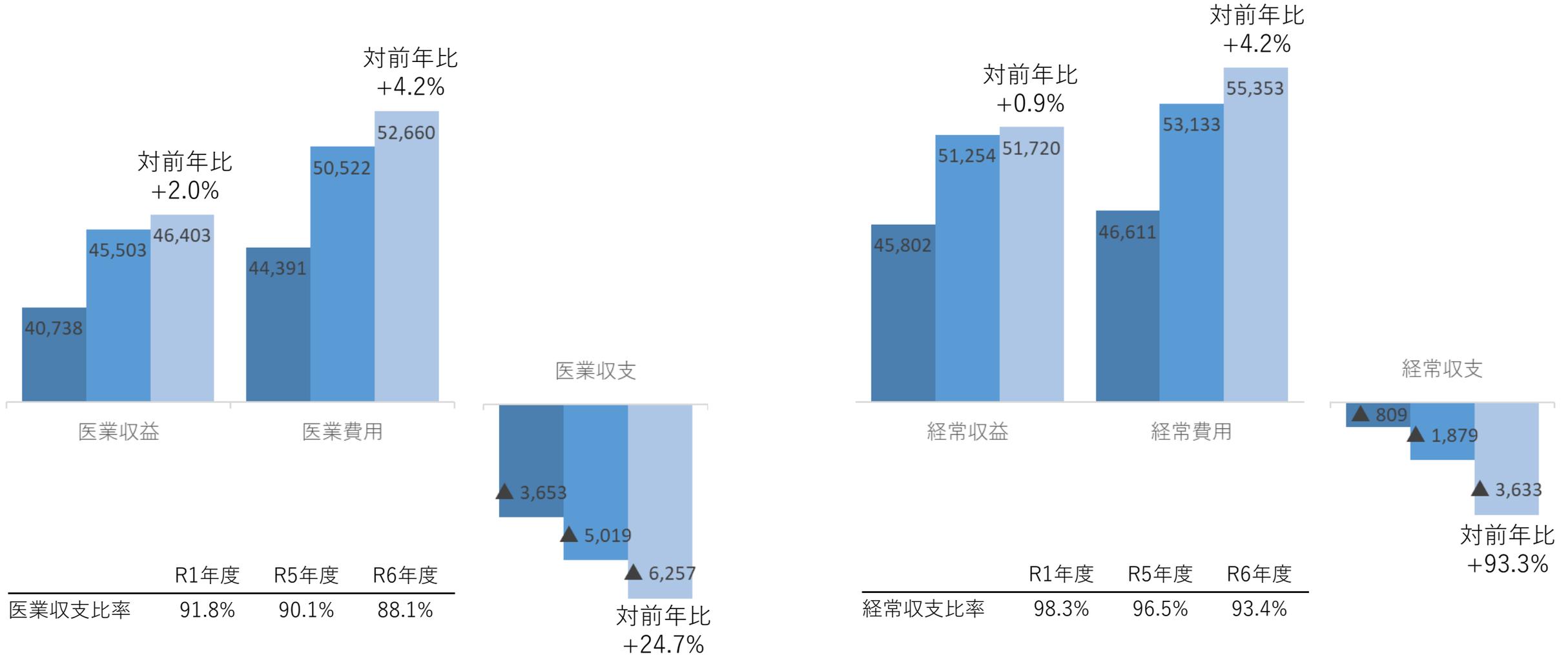


(出典) 「公立病院の現状と課題等について」 (総務省)

a) 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により厚生労働大臣又は都道府県知事が指定した病院。b) 「へき地保健医療対策実施要綱」により都道府県知事が指定している病院。c) 「災害時における医療体制の充実強化について」に定めるところにより都道府県において指定した病院。d) 当該病院から最寄りの病院までの移動距離が15km以上、又は当該病院の半径5km以内の人口が10万人未満に所在する100床以上500床未満の許可病床を有する一般病院であって、都道府県の医療計画において、二次救急医療機関又は三次救急医療機関として位置づけられ、へき地医療拠点病院又は災害拠点病院の指定を受けている病院。e) 「救急医療対策事業実施要綱」に規定された救命救急センター、高度救命救急センター及びそれらを併設する病院。

# 医業収支・経常収支の推移

■ R1年度 ■ R5年度 ■ R6年度 単位：億円 (n=657)



注) 医業収益には他会計負担金、運営費負担金等の一部(救急医療確保、保健衛生行政の確保に要する経費)が含まれます。

# 病床規模別の経営状況

(400床以上と100床未満の比較)

## 400床以上

単位：億円 (n=144)

	R5年	R6年	増減額	伸び率
医業収益	27,203	27,920	717	102.6%
医業費用	29,001	30,359	1,358	104.7%
医業収支	▲ 1,798	▲ 2,439	▲ 641	135.7%
経常収益	29,595	30,109	514	101.7%
経常費用	30,483	31,898	1,415	104.6%
経常収支	▲ 888	▲ 1,789	▲ 901	201.5%
医業収支比率	93.8%	92.0%		
経常収支比率	97.1%	94.4%		
赤字割合	78%	94%		

## 100床未満

単位：億円 (n=165)

	R5年	R6年	増減額	伸び率
医業収益	1,364	1,366	2	100.1%
医業費用	1,891	1,949	58	103.1%
医業収支	▲ 527	▲ 583	▲ 56	110.6%
経常収益	1,953	1,956	3	100.2%
経常費用	2,001	2,057	56	102.8%
経常収支	▲ 48	▲ 101	▲ 53	210.4%
医業収支比率	72.1%	70.1%		
経常収支比率	97.6%	95.1%		
赤字割合	61%	73%		

注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、差引数値等が一致しない場合がある。

# 病床規模別の経営状況

単位：億円 (n=657)

病床規模	病院数	項目	R1年度	R5年度	R6年度	R6－R5 増減額	R6の前年比 伸び率	R6－R1 増減額	R6の対R1 伸び率
400床以上	144	経常収益	25,975	29,595	30,109	514	101.7%	4,134	115.9%
		経常費用	26,235	30,483	31,898	1,415	104.6%	5,663	121.6%
		経常収支	▲ 260	▲ 888	▲ 1,789	▲ 901	201.5%	▲ 1,529	688.1%
		赤字割合	56%	78%	94%				
200床以上 400床未満	169	経常収益	12,660	14,104	14,105	1	100.0%	1,445	111.4%
		経常費用	12,996	14,854	15,383	529	103.6%	2,387	118.4%
		経常収支	▲ 336	▲ 750	▲ 1,278	▲ 528	170.4%	▲ 942	380.4%
		赤字割合	60%	82%	95%				
200床未満	311	経常収益	6,141	6,511	6,514	3	100.0%	373	106.1%
		経常費用	6,353	6,755	7,001	246	103.6%	648	110.2%
		経常収支	▲ 212	▲ 244	▲ 487	▲ 243	199.6%	▲ 275	229.7%
		赤字割合	63%	66%	79%				
精神科病院	33	経常収益	1,026	1,043	991	▲ 52	95.0%	▲ 35	96.6%
		経常費用	1,027	1,041	1,071	30	102.9%	44	104.3%
		経常収支	▲ 1	2	▲ 80	▲ 82	▲ 4100.0%	▲ 79	8000.0%
		赤字割合	55%	52%	64%				

注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、差引数値等が一致しない場合がある。

# 医療機能別の経営状況

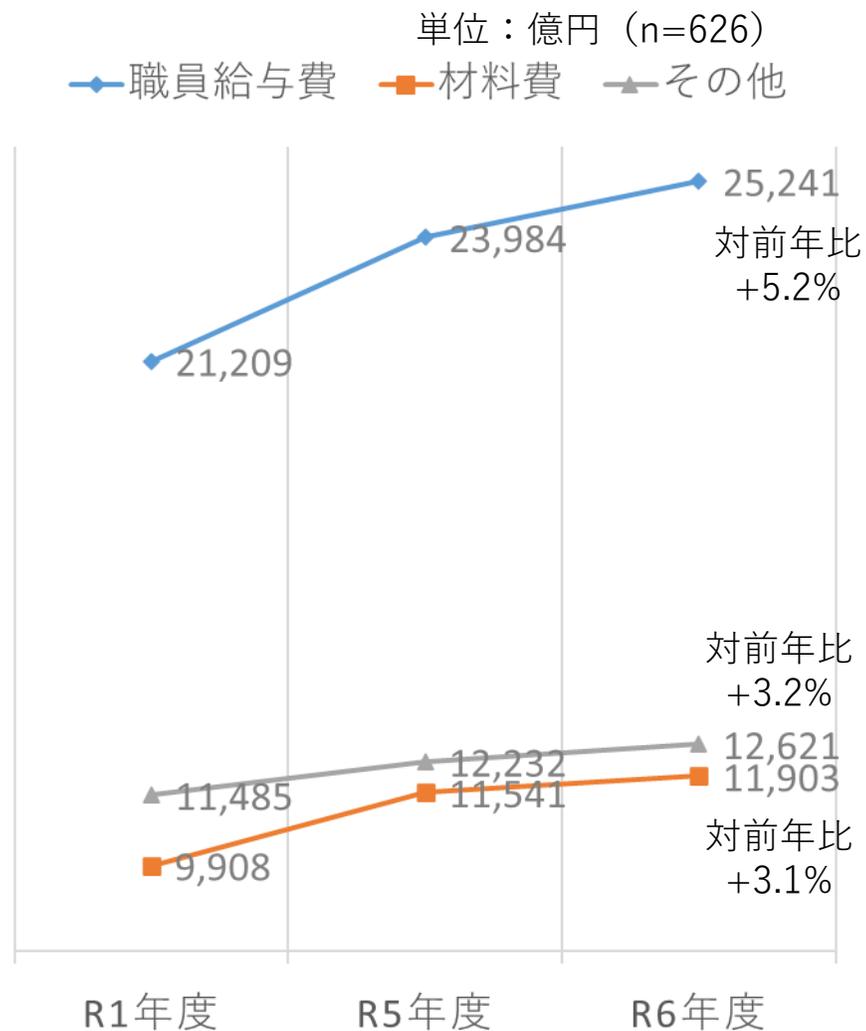
単位：億円（n=657）

医療機能	病院数	項目	R1年度	R5年度	R6年度	R6－R5 増減額	R6の前年比 伸び率	R6－R1 増減額	R6の対R1 伸び率
ICU・CCU又は NICU・未熟児 室あり	251	経常収益	32,819	36,332	36,839	507	101.4%	4,020	112.2%
		経常費用	33,301	37,545	39,247	1,702	104.5%	5,946	117.9%
		経常収支	▲ 482	▲ 1,213	▲ 2,408	▲ 1,195	198.5%	▲ 1,926	499.6%
		赤字割合	60%	77%	92%				
高度急性期病 床又は急性期 病床あり注1	409	経常収益	36,458	40,799	41,250	451	101.1%	4,792	113.1%
		経常費用	37,066	42,270	44,119	1,849	104.4%	7,053	119.0%
		経常収支	▲ 608	▲ 1,471	▲ 2,869	▲ 1,398	195.0%	▲ 2,261	471.9%
		赤字割合	59%	74%	91%				

注1) 医療法による病床機能報告制度で報告する高度急性期病床、又は急性期病床を有する病院。

注2) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、差引数値等が一致しない場合がある。

# 主な費用の推移



## 医業費用の構成比 (R6年度)



対前年比	R6年度 - R5年度 増減額	R6年度の 前年比伸び率
職員給与費	1,257億円	105.2%
材料費	362億円	103.1%
その他	389億円	103.2%

対R1年度	R6年度 - R1年度 増減額	R6年度の 対R1年度伸び率
職員給与費	4,032億円	119.0%
材料費	1,995億円	120.1%
その他	1,136億円	109.9%

注) 有効回答のうち、地方公営企業の病院、公営企業型地方独立行政法人病院を対象に集計（指定管理者制度の導入病院、大学附属病院及び一般行政病院は含まない）。

# 会員病院からの財政措置への主な意見・要望

## (1) 診療報酬の引き上げ・改定の要望

- 物価高騰・人件費上昇が病院経営を著しく圧迫しており、大幅な診療報酬の引き上げが必要。
- 人事院勧告に伴う賃上げが診療報酬でカバーできないため、期中改定やベースアップ評価料の増額が必要。

## (2) 地方交付税措置の拡充

- 普通交付税や特別交付税の病床割単価の引き上げ。
- 不採算医療（小児、周産期、救急等）を担う病院への財政措置の拡充。

## (3) 病院事業債の制度拡充

- 経営改善推進事業に関わる病院事業債の対象拡大や償還費への支援。
- 老朽化施設の更新、医療機器整備、医療DX整備に係る地方交付税措置の拡充。

## (4) 控除対象外消費税の見直し

- 医療材料の価格高騰や医療機器・保守委託費に係る消費税負担が常態化しており、ゼロ税率の適用や課税売上への変更。